

遺跡No	遺構種別	遺構No	時期	説明	グリッド	形態	主軸	長さ	幅	深さ	付属施設	出土遺物
66-046	竪穴住居跡	0001	縄文時代 前期	調査区内の中央に位置する。床面は、わずかに中心部が低く緩い擂鉢状を呈する。壁面はわずかに開くものの、ほぼ垂直に立ち上がる。柱穴は確認できなかった。	—	楕円形	N-2° -E	5.80	5.10	0.54	炉跡は建物跡の北部に位置し、長軸約97cmの範囲に焼土の広がりを検出した。炉跡の南東部には、埋甕を検出した。	深鉢土器、ミニチュア土器、石器、剥片、打製石斧、磨石、たたき石